



第2次能代市総合計画  
(後期基本計画)

まちづくり評価書

令和6年11月

能代市総合計画市民協働会議

# 目 次

I	本書の説明	
	目標指標・評価等の見方	1
	目標指標等の評価 集計表	2
II	評価書	
1	元気で魅力あるまち	
	(1) 地域資源を活かした特色あるまちづくり	3
	(2) みんなが参加し活躍する地域づくり	4
	(3) 心豊かな暮らしを支える健康づくり	6
	(4) 気軽に親しみ楽しめるスポーツ	8
2	笑顔で人が輝くまち	
	(1) 地域や社会で支える子ども・子育て	9
	(2) 次代を担う子どもを育てる学校教育	10
	(3) 地域や社会に活かす生涯学習・文化	11
	(4) 地域で活躍する元気な高齢者	13
	(5) 自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障	14
3	豊かで活力あるまち	
	(1) 地域特性を活かした産業創出	16
	(2) 雇用とにぎわいを生み出す商工業	17
	(3) 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光	19
	(4) 力強く持続する農業	20
	(5) 山・川・海を生かす林業・木材産業・水産業	22
4	安心で暮らしやすいまち	
	(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制	23
	(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	24
	(3) 快適で暮らしやすい住環境	25
	(4) 自然と共生し持続できる環境・衛生	27
	(5) 調和のとれた有効な土地利活用	29
	(6) 住民サービスに資する効率的な行財政基盤	30

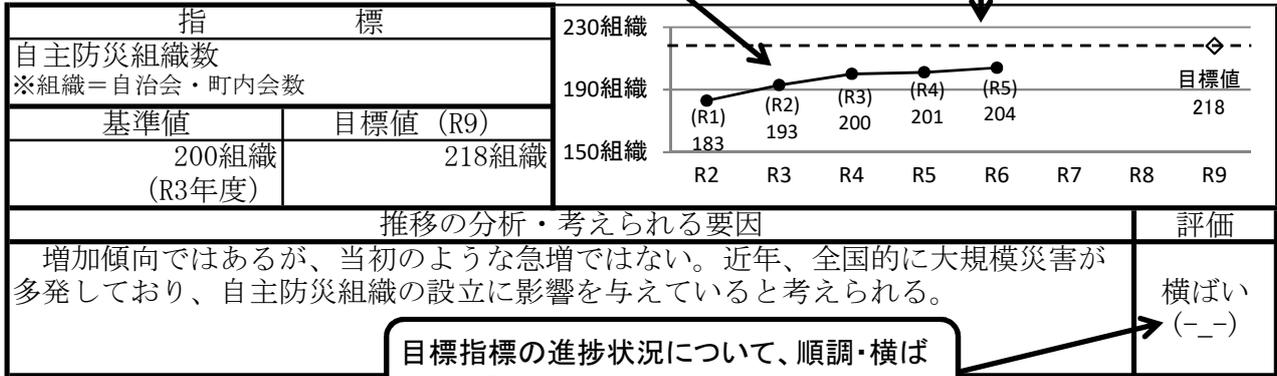
# I 本書の説明

## 目標指標・評価等の見方

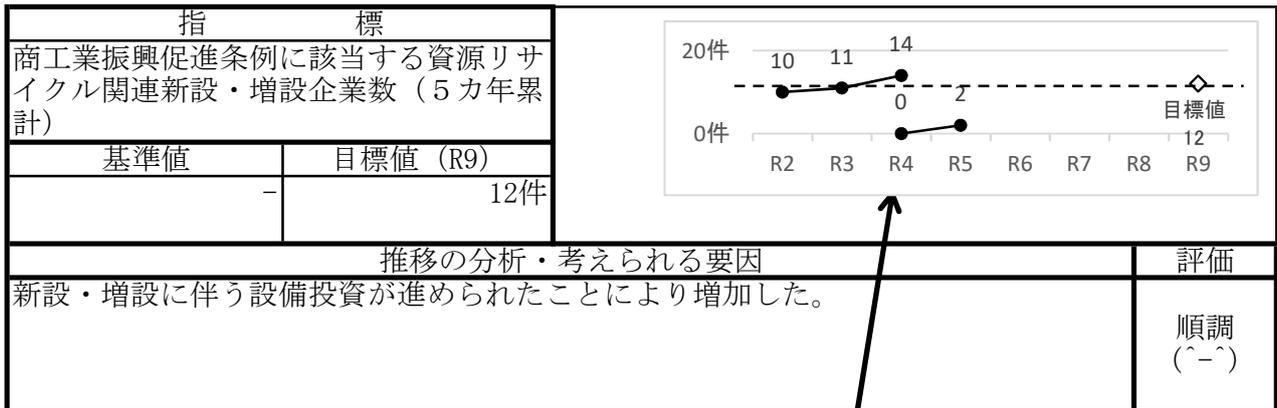
グラフの横軸は、実績値を把握する年度  
実績年度と異なる場合は、カッコ書きで表示

過去の実績と目標値をグラフで表示

### 【基本計画の目標指標】



目標指標の進捗状況について、順調・横ばい・不調の3段階で評価



累計の目標指標は、R5年度実績値からの累積となるため、R4年度をゼロとしている

### 【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
順調 (^)	■■■の指標に関しては、ここ2年で極端に減少しており、今後3年で目標に到達することは難しいと予想される。一方で、●●●や▲▲▲に関しては、◇◇◇事業の対象者の拡大等、市の施策の影響と思われる伸びが顕著であるため、総合的には順調と評価する。

市民協働会議委員による政策の評価を記載。左欄には3段階評価、右欄は評価の理由を記入

## 目標指標の評価 集計表

基本目標	合計	順調 (^~^)	横ばい (--)	不調 (>_<)
1 元気で魅力あるまち (地域づくり・健康づくり)	17	3	7	7
2 笑顔で人が輝くまち (人材育成・生涯活躍)	19	2	10	7
3 豊かで活力あるまち (産業振興・雇用創出)	17	10	2	5
4 安心で暮らしやすいまち (生活環境・行財政)	19	4	9	6
合 計	72	19	28	25

## 政策の評価 集計表

基本目標	合計	順調 (^~^)	横ばい (--)	不調 (>_<)
1 元気で魅力あるまち (地域づくり・健康づくり)	4	1	3	
2 笑顔で人が輝くまち (人材育成・生涯活躍)	5	1	3	1
3 豊かで活力あるまち (産業振興・雇用創出)	5	4		1
4 安心で暮らしやすいまち (生活環境・行財政)	6		5	1
合 計	20	6	11	3

### 【評価区分等の説明】

- 順 調…目標値または当該年度の仮の目標値(以下「目標値等」という。)に達している。
- 横ばい…目標値等との間に隔たりはないものの、目標値等に達しておらず、基準値と大差ない。
- 不 調…目標値等に達しておらず、目標値等との間に隔たりがある。

(基本目標 1 元気で魅力あるまち)

政策 (1)	地域資源を活かした特色あるまちづくり
--------	--------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
能代市を好きな市民の割合 (市民意識調査)		
基準値	目標値 (R9)	
—	50.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>後期基本計画からの新指標であるが、目標値に対して市民意識調査の結果は順調に推移している。能代を好きと思う要因は、自然や文化等の地域資源のほか、子育て支援などの各種施策、公共交通や買い物環境等、様々考えられる。引き続き住民ニーズの把握に努め、各種取り組みを推進していく。</p>		順調 (^-^)

指 標		
このまちが住みやすいと思う市民の割合 (市民意識調査)		
基準値	目標値 (R9)	
53.9% (R3年度)	60.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>昨年度比で微増しているものの全体的にはほぼ横ばいで推移している。「どちらともいえない」という回答もかなり多く (R6調査: 225件、28.7%)、他地域と比べ住みやすさを感じられる実感を得るところまでいっていないと考えられる。能代市を好きな市民の割合と同様に、住みやすいと思う要因は、自然や文化等の地域資源のほか子育て支援などの各種施策、公共交通や買い物環境等、様々考えられる。引き続き住民ニーズの把握に努め、各種取り組みを推進していく。</p>		不調 (>_<)

指 標		
市への相談を経て移住した世帯数		
基準値	目標値 (R9)	
23世帯 (R2年度)	55世帯	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>首都圏での移住相談会への積極的な参加と移住支援のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中でもSNS等を活用した移住相談や情報発信をしたことにより、増えたものと考えられる。</p>		順調 (^-^)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
順調 (^-^)	<p>ほぼ目標値を達成しているため、「順調」とした。基準値を達成していない項目もあるが、市民の実感として今後の可能性を感じる。今後の方向性として市内外へのPRに力を入れることができると考える。</p>

(基本目標 1 元気で魅力あるまち)

政策 (2)	みんなが参加し活躍する地域づくり
--------	------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
市民活動支援センター登録団体数		
基準値	目標値 (R9)	
95団体 (R3年度)	100団体	
推移の分析・考えられる要因		評価
市民活動支援センターに関する周知に努めたほか、市民活動支援センター登録団体の活動内容の周知や資材貸出し等が充実し、登録団体からの口コミにより増加したものと考えられる。		順調 (^_^)

指 標		
ボランティアセンター登録者数		
基準値	目標値 (R9)	
2,945人 (R3年度)	3,300人	
推移の分析・考えられる要因		評価
コロナの終息・災害によるボランティアにより、R5の登録者が増加したものと考えられる。		横ばい (-_-)

指 標		
自治会・町内会加入率		
基準値	目標値 (R9)	
76.4% (R3年度)	80.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
チラシ配布等により自治会・町内会への加入呼び掛けを行っているが、賃貸入居者等の加入は難しく、減少傾向にある。		不調 (>_<)

指 標		
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合 (市民意識調査)		
基準値	目標値 (R9)	
29.2% (R3年度)	50.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
自治会・町内会の役員等、活発に市民活動を行っている人材の固定化・高齢化により減少傾向にあると考えられる。		不調 (>_<)

指 標		
女性就業率（市民意識調査）		
基準値 62.0% (R4年度)	目標値（R9） 65.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
労働に関する法や制度の整備・充実が進められているものの、高齢化等の理由により就業者数が減ったと考えられる。		不調 (>_<)

### 【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (-_-)	目標の数値は達成していないが、人口減少が進む中である程度やむを得ない部分もあるため、「横ばい」とした。今後、活動を細らせない工夫を考える必要があり、若者や女性が参加しやすいあり方、有償ボランティアの導入を検討する必要があると考える。

(基本目標1 元気で魅力あるまち)

政策(3)	心豊かな暮らしを支える健康づくり
-------	------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		<table border="1"> <caption>からだ健康だと思ふ市民の割合 (市民意識調査)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>63.6</td></tr> <tr><td>R3</td><td>63.7</td></tr> <tr><td>R4</td><td>60.1</td></tr> <tr><td>R5</td><td>59.1</td></tr> <tr><td>R6</td><td>57.8</td></tr> <tr><td>R9 (目標)</td><td>70.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	R2	63.6	R3	63.7	R4	60.1	R5	59.1	R6	57.8	R9 (目標)	70.0
年度	割合 (%)															
R2	63.6															
R3	63.7															
R4	60.1															
R5	59.1															
R6	57.8															
R9 (目標)	70.0															
基準値	目標値 (R9)															
63.7% (R3年度)	70.0%															
推移の分析・考えられる要因		評価														
<p>積極的な健診の受診勧奨や啓発、環境整備等により、生活習慣病の予防や健康に関する意識は高まりつつあると考えられる。しかし、健診受診や生活習慣改善などの具体的な行動に結びついていない状況や、高齢化率の上昇、運動不足等が、減少の要因と考えられる。</p>		横ばい (--)														

指 標		<table border="1"> <caption>心が健康だと思ふ市民の割合 (市民意識調査)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>62.6</td></tr> <tr><td>R3</td><td>61.5</td></tr> <tr><td>R4</td><td>58.5</td></tr> <tr><td>R5</td><td>61.6</td></tr> <tr><td>R6</td><td>57.7</td></tr> <tr><td>R9 (目標)</td><td>70.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	R2	62.6	R3	61.5	R4	58.5	R5	61.6	R6	57.7	R9 (目標)	70.0
年度	割合 (%)															
R2	62.6															
R3	61.5															
R4	58.5															
R5	61.6															
R6	57.7															
R9 (目標)	70.0															
基準値	目標値 (R9)															
61.5% (R3年度)	70.0%															
推移の分析・考えられる要因		評価														
<p>心の健康には、身体状況、社会経済状況、住居や職場の環境、対人関係等、多くの要因が影響している。昨年度と比較すると微減であり、ストレスを感じている方、休養不足の方、うつ等の病気の方、人とのつながりが希薄な方等が少なくないと考えられる。</p>		横ばい (--)														

指 標		<table border="1"> <caption>がん死亡率 (人口10万人対)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>死亡率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>555.7 (H30)</td></tr> <tr><td>R3</td><td>448.4 (R1)</td></tr> <tr><td>R4</td><td>450.4 (R2)</td></tr> <tr><td>R5</td><td>559.1 (R3)</td></tr> <tr><td>R6</td><td>547.4 (R4)</td></tr> <tr><td>R9 (目標)</td><td>400.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	死亡率	R2	555.7 (H30)	R3	448.4 (R1)	R4	450.4 (R2)	R5	559.1 (R3)	R6	547.4 (R4)	R9 (目標)	400.0
年度	死亡率															
R2	555.7 (H30)															
R3	448.4 (R1)															
R4	450.4 (R2)															
R5	559.1 (R3)															
R6	547.4 (R4)															
R9 (目標)	400.0															
基準値	目標値 (R9)															
450.4 (R2年)	400.0															
推移の分析・考えられる要因		評価														
<p>がん死亡率は高齢化や人口減による影響が大きくなる要因と考えられる。昨年度と比較すると、11.7ポイント減少しており、禁煙、食生活改善、運動の習慣化、がん検診受診率向上の取組を引き続き継続していく。</p>		横ばい (--)														

指 標		<table border="1"> <caption>自殺死亡率 (人口10万人対)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>死亡率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>23.2 (H30)</td></tr> <tr><td>R3</td><td>39.3 (R1)</td></tr> <tr><td>R4</td><td>12.0 (R2)</td></tr> <tr><td>R5</td><td>26.5 (R3)</td></tr> <tr><td>R6</td><td>39.5 (R4)</td></tr> <tr><td>R9 (目標)</td><td>16.8以下</td></tr> </tbody> </table>	年度	死亡率	R2	23.2 (H30)	R3	39.3 (R1)	R4	12.0 (R2)	R5	26.5 (R3)	R6	39.5 (R4)	R9 (目標)	16.8以下
年度	死亡率															
R2	23.2 (H30)															
R3	39.3 (R1)															
R4	12.0 (R2)															
R5	26.5 (R3)															
R6	39.5 (R4)															
R9 (目標)	16.8以下															
基準値	目標値 (R9)															
12.0 (R2年)	16.8以下															
推移の分析・考えられる要因		評価														
<p>前年と比べ増加した。増減を繰り返す傾向があり、増減の要因については解明し難い。自殺者の特徴としては、60歳以上の無職者が上位を占め、背景には失業や生活苦、身体疾患等からうつ状態に陥り、自殺に至る危機経路が考えられる。</p>		不調 (>_<)														

指 標			目標値 10.0		
喫煙率（市民意識調査）					
基準値 18.3% (R3年度)	目標値 (R9) 10.0%				
推移の分析・考えられる要因			評価		
<p>ほぼ横ばいで推移している。喫煙率が下がらない要因として、禁煙に無関心な方や禁煙の意思はあるが、ニコチン依存や心理・行動的依存等により、禁煙を継続できない方が多いことが挙げられる。</p>			横ばい (--)		

指 標			目標値 60.0		
特定健康診査の受診率					
基準値 28.5% (R2年度)	目標値 (R9) 60.0%				
推移の分析・考えられる要因			評価		
<p>R2年度以降、受診率としては微増となっている。受診者数は毎年ほぼ変わらないものの、国民健康保険の被保険者数が毎年減少しているためと考えられる。定期的に通院治療しているという理由で受診しない傾向があるため、受診勧奨の方法等工夫が必要である。</p>			横ばい (--)		

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (--)	<p>コロナの流行もありつつ、増減はあるものの全体としては例年と同様のため、評価は「横ばい」とした。年代に応じた、特に若い世代向けの情報発信や啓発方法の検討が必要と考える。</p>

(基本目標 1 元気で魅力あるまち)

政策 (4)	気軽に親しみ楽しめるスポーツ
--------	----------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
週 1 回以上スポーツに親しんでいる市民の割合 (市民意識調査)		
基準値	目標値 (R9)	
51.3% (R3年度)	60.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>コロナ禍においては、テレワーク等により、自由に使える時間が増えたことからスポーツ実施率が上昇したと考えられるが、コロナの影響が少なくなったことに伴い、個人の活動に制限がなくなったこと等により、スポーツの実施率低下となったと考えられる。</p>		横ばい (-_-)

指 標		
優良競技者・団体表彰数 (栄光賞)		
基準値	目標値 (R9)	
333人 (R2年度)	300人	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>児童・生徒数の減少のほか、スポーツをする人と、しない人の二極化が進んだことにより、競技人口の減少が考えられる。特に団体競技で大会に参加するチームが減少したことも要因のひとつと考えられる。</p>		不調 (>_<)

指 標		
スポーツ施設の人口一人当たりの年間利用回数		
基準値	目標値 (R9)	
-	6.0回/人年	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>新型コロナの影響が軽減し、大会やイベントの開催が増えてきているものの、コロナ禍前の状況には戻っていない状況となっている。</p>		不調 (>_<)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (-_-)	<p>コロナの影響を考慮し、「横ばい」とした。健康意識の高まりと併せ、簡単な運動・スポーツから気軽に取り組んでもらえるよう呼びかけしていただきたい。実態把握のため、学校開放事業による学校施設のスポーツ利用者数も含めるべきではないか。</p>

(基本目標2 笑顔で人が輝くまち)

政策(1)	地域や社会で支える子ども・子育て
-------	------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
合計特殊出生率		
基準値	目標値 (R9)	
1.54% (R2年)	1.69%	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>出生数の減少が見れる。 R6.2に実施した市民アンケートによれば、コロナ禍の影響で結婚や出産に影響があった方が一定数おり、出生率にも反映しているものと考えられる。また、子どもを望まない理由として経済的な理由を挙げる人(47.6%)が最多となっている。</p>		不調 (>_<)

指 標		
子どもを生き育てやすいと思う市民の割合(市民意識調査)		
基準値	目標値 (R9)	
31.7% (R3年度)	40.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>結婚から出産・子育て期を切れ目なく支援するため、結婚・出産祝い金制度や出産・子育て応援給付金の実施、福祉医療費の拡充、保育所待機児童や放課後児童クラブの発生防止対策等を実施しているが、新型コロナウイルスの影響や物価高騰等により、子育て世帯の経済的な負担が大きくなっていることが影響していると思われる。</p>		横ばい (--)

指 標		
子育てを地域で支えあう雰囲気があると 思う市民の割合(市民意識調査)		
基準値	目標値 (R9)	
24.5% (R3年度)	35.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>妊娠・出産・子育てに対する不安を払拭し子育て世帯への相談体制の充実と経済的支援を一体的に図るため、出産・子育て応援事業を実施しているが、新型コロナウイルスの影響等により地域等との関わりが少なくなったことが影響していると思われる。 令和6年度より0歳児がいる家庭を対象に、定期的な見守りを行い、育児用品等を配布する能代市すまいる♡めんchoco定期便を実施し、地域で支える体制を整え、子育ての不安解消や孤立、虐待の予防等を図りたいと考えている。</p>		横ばい (--)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (--)	子どもを産む世代の数が少なくなっており、経済的な負担が大きくなってはいるが、子育て支援は充実しているので、「横ばい」とした。効果的な情報発信と、事業者と連携した子育ての環境整備が必要と考える。

(基本目標2 笑顔で人が輝くまち)

政策(2)	次代を担う子どもを育てる学校教育
-------	------------------

【基本計画の目標指標】

<p>指 標</p> <p>子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合(市民意識調査)</p>		
<p>基準値</p> <p>55.8%</p> <p>(R3年度)</p>	<p>目標値(R9)</p> <p>60.0%</p>	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>コロナを機に地区の催し等が中止となり、そのまま再開していないものも多くあり、地区での結び付きが希薄になったためと思われる。</p>		<p>評価</p> <p>不調 (&gt;_&lt;)</p>

<p>指 標</p> <p>地域の行事に参加している児童・生徒の割合</p>		
<p>基準値</p> <p>74.5%</p> <p>(R元年度)</p>	<p>目標値(R9)</p> <p>75.0%</p>	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>小学校、中学校ともにふるさと教育者キャリア教育等、地域と関わる活動を充実させ、地域理解や地域について考える機会となっている。そのため、地域行事に参加する児童生徒が増加している。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (-_-)</p>

<p>指 標</p> <p>不登校児童・生徒の出現率</p>		
<p>基準値</p> <p>1.84%</p> <p>(R3年度)</p>	<p>目標値(R9)</p> <p>2.12%以下</p>	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>保護者の生活状況、養育態度・能力、心身の健康面やメディア・ゲーム依存等の要因が複合的に絡み、不登校となっている児童生徒が増加している。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (-_-)</p>

【政策の評価】

<p>市民協働会議 評価</p>	<p>(評価の理由と今後の方向、取り組み)</p>
<p>横ばい (-_-)</p>	<p>地域の催しや祭りの機会は多くなっているが、行事へ参加する親の負担は大きい。不登校などについての対策はされているため、「横ばい」とした。不登校の子どもを早期に把握して、多方面から支援できるような取り組みが必要と考える。地域の様々な行事に参加し、地域の良さを学ぶ取り組みが必要ではないか。</p>

(基本目標2 笑顔で人が輝くまち)

政策(3)	地域や社会に活かす生涯学習・文化
-------	------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合(市民意識調査)		
基準値	目標値(R9)	
11.0%(R3年度)	20.0%	

推移の分析・考えられる要因	評価
コロナ禍で知識や特技を地区活動等で発揮する場が減少したが、コロナの影響の減少により回復傾向にあったものの、人口減少や高齢化が進んでいることもあり、後継・継承に繋がっていないと考えられる。	不調(>_<)

指 標		
自主学習グループ数		
基準値	目標値(R9)	
230団体(R3年度)	236団体	

推移の分析・考えられる要因	評価
高齢化や人口減少に伴う活動団体の減少とあわせて、コロナ禍の影響が長期間に及んだことにより、グループ活動の休止や解散となるケースも見られ、年度毎の登録団体数が減少したと考えられる。	不調(>_<)

指 標		
自主学習グループ会員数		
基準値	目標値(R9)	
3,046人(R3年度)	3,388人	

推移の分析・考えられる要因	評価
高齢化や人口減少に伴う活動団体の減少とあわせて、コロナ禍での活動自粛の影響が長期間に及んだことで活動から離れるケースも見られ、登録者数は減少傾向であるとされる。	不調(>_<)

指 標		
地域の伝統行事、祭りや七夕・民俗芸能などへ参加又は見に行ったことがある市民の割合		
基準値	目標値(R9)	
-	36.0%	

推移の分析・考えられる要因	評価
令和5年度から新指標を設定したが、こちらが想定した以上に市民の関心の高さが伺え、目標値の上方修正が必要と考える。ただし、年代別分析では、30～60代が70%を超えているものの、20代が58.8%と世代間で最も低く、次世代育成という観点から、20代への働きかけが必要となっている。	順調(^-^)

指 標		
市民1人当たりの社会教育施設（スポーツ施設・図書館を除く）年間利用回数		
基準値	目標値 (R9)	
-	6.5回	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>令和3年度から勤労青少年ホームが新型コロナウイルスワクチン接種会場となり、隣接する中央公民館、文化会館、働く婦人の家の研修室等を待機所とし、ワクチン接種に来場された方や関係者の人数も利用者数に含んでいる。ワクチン関係の来館者により、令和3年度は大幅な増加となったが、ワクチン接種対象者の限定に伴い、接種人数・関係者数が減少し、令和5年度中には集団接種が終了したため、令和4・5年度は減少傾向にある。また、各施設において、高齢化や人口減少による利用者数・利用団体の減少も要因である。</p>		不調 (>_<)

指 標		
市民1人当たりの図書館来館数		
基準値	目標値 (R9)	
-	2.3回	
推移の分析・考えられる要因		評価
<p>新型コロナウイルス感染症の影響が軽減し、講座やおはなし会なども制限なく開催されたことにより、来館数はやや増加傾向が見られる。</p>		横ばい (-_-)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
不調 (>_<)	<p>高齢化・人口減少により仕方ない部分はあると思うが、基準の目標値から考えると各目標の指標推移に上昇傾向が見られないため、「不調」とした。生涯学習・文化・民俗芸能に関する人と学校をつないでいくような仕組みを作ればよいのでは。人口減少や高齢化が進んでいるので、地元の子どもたちに興味を持ってもらうための方法を考えるべき。</p>

(基本目標2 笑顔で人が輝くまち)

政策(4)	地域で活躍する元気な高齢者
-------	---------------

【基本計画の目標指標】

<p>指 標</p> <p>高齢者人口に対する自立高齢者率</p>		
基準値	目標値 (R9)	
78.7% (R3年度)	80.0%	目標値 80.0
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>各地域に出向き、介護予防教室を開催し予防の普及・啓発を行うとともに、介護予防事業につなげている。また、介護予防教室修了者による自主グループの結成に取り組んでいることや、介護申請の適正化により、実績値は上向いているため、今後も継続していく。</p>		<p>評価</p> <p>順調 (^-^)</p>

<p>指 標</p> <p>自治会・町内会や老人クラブ・ボランティア活動など、市民活動に参加することを心がけている高齢者の割合 (市民意識調査)</p>		
基準値	目標値 (R9)	
42.3% (R3年度)	50.0%	目標値 50.0
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>自治会・町内会の役員等、活発に市民活動を行っている人材の固定化・高齢化により減少傾向にあると考えられる。</p>		<p>評価</p> <p>不調 (&gt;_&lt;)</p>

<p>指 標</p> <p>高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者数</p>		
基準値	目標値 (R9)	
1,535人 (R2年度)	4,500人	目標値 4,500
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>感染症対策を講じながら事業を行い、参加しやすい環境を整えた。また、小規模でも地域に出向いて開催するなど、内容の磨き上げにより満足度の向上を図ったところ、参加者数の増につながった。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (-_-)</p>

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
順調 (^-^)	数値が年々良くなっているため、評価は「順調」とした。介護予防教室などの取り組みを継続しつつ、高齢者が地域活動に参加しやすい環境や、要介護認定を受けている人も社会参加できる取り組みが必要と考える。

(基本目標2 笑顔で人が輝くまち)

政策(5)	自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障
-------	----------------------

【基本計画の目標指標】

<p>指 標</p> <p>市の障がい者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数 (H18年度からの累計)</p>		
基準値	目標値 (R9)	
35人 (R2年度)	42人	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>移行後の生活を支えるサービス体制は徐々に整っているが、施設入所者は重度者が多く、地域生活への移行は緩やかとなっている。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (--)</p>

<p>指 標</p> <p>事業所における障がい者雇用率 (能代山本)</p>		
基準値	目標値 (R9)	
2.84% (R2年度)	3.06%	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>法定雇用率より高いポイントとなっているが、障害者雇用数は7.5人減り0.08ポイントの減少となった。精神障害者の求職者が多いが雇用に結びついていない。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (--)</p>

<p>指 標</p> <p>障がいのある人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合 (市民意識調査)</p>		
基準値	目標値 (R9)	
14.5% (R3年度)	20.0%	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>社会参加には人との関りが伴うが、障がい者と一緒に活動する機会が少ないことが要因の一つとして考えられる。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (--)</p>

<p>指 標</p> <p>公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率</p>		
基準値	目標値 (R9)	
25.0% (R2年度)	29.0%	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>6項目クリア率が0.3ポイント増加した。クリアしている施設は23施設と変わらないが、対象施設が92施設から91施設に減ったことによる。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (--)</p>

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (--)	社会とつながりが強い事業所における障がい者雇用率に減少はなく、変化がないが、社会参加の環境はまだ十分ではないため、「横ばい」とした。障がい者の社会参加を支援し、行政と企業が連携して障がい者雇用を進める取り組みが必要と考える。

(基本目標3 豊かで活力あるまち)

政策(1)	地域特性を活かした産業創出
-------	---------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
再生可能エネルギー導入量		
基準値	目標値 (R9)	
76,803kW (R3年度)	250,000kW	
推移の分析・考えられる要因		評価
令和6年1月に新たに風力発電所1基導入し、微増となっている。複数の風力発電の計画があり、現在のところ目標に向けて順調に進んでいる。		順調 (^~^)

指 標		
商工業振興促進条例に該当する資源リサイクル関連新設・増設企業数(5カ年累計)		
基準値	目標値 (R9)	
-	3件	
推移の分析・考えられる要因		評価
令和2年度に機械装置の増設が行われたことにより増加した。令和3、4年度は、増設に伴う設備投資の相談はあったが、申請には至らず、新設・増設がなかったため。		横ばい (-_-)

指 標		
能代港の取扱貨物量(能代火力発電所専用棧橋を除く)		
基準値	目標値 (R9)	
365,776 t (R元年)	450,000 t	
推移の分析・考えられる要因		評価
陸上風力発電所の建設に伴い、部材として使用する電気機械の輸入量が増加した。また、洋上風力の拠点港湾整備や能代工業団地での新工場建設に使用する砂利・砂等及び中国向けの本製品の取扱いが伸びているため。 ※R5数値は速報値		順調 (^~^)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
順調 (^~^)	目標値を直近で超えている指標もあり、今後も伸びていくと考えられるため、「順調」とした。洋上風力発電の分野では、能代が先進地として高い注目を集めていると感じている。観光コンテンツとしての側面もさらに伸ばしていけるよう取り組んでもらいたい。現在の市の考えを継続して事業を進めてよいと考える。

(基本目標3 豊かで活力あるまち)

政策(2)	雇用とにぎわいを生み出す商工業
-------	-----------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
商工業振興促進条例に該当する新設・増設企業数(5カ年累計)		
基準値	目標値(R9)	
-	12件	目標値 12
推移の分析・考えられる要因		評価
新設・増設に伴う設備投資が進められたことにより増加した。		順調 (^_^)

指 標		
創業者数(5カ年累計)		
基準値	目標値(R9)	
-	30人	目標値 30
推移の分析・考えられる要因		評価
新型コロナウイルスが5類に移行し、経済活動も回復基調にある中、起業家の活動も活発化したものと思われる。		順調 (^_^)

指 標		
新規学校卒業者就職率(能代山本)		
基準値	目標値(R9)	
55.6% (R2年度)	60.0%	目標値 60.0
推移の分析・考えられる要因		評価
全国的な働き手不足により、特に首都圏等の給料や福利厚生が手厚くなっている。加えてコロナによる制約が無くなったため、県外志向が高まっていることも要因のひとつと考えられる。		不調 (>_<)

指 標		
空き店舗利活用件数(5カ年累計)		
基準値	目標値(R9)	
-	10件	目標値 10
推移の分析・考えられる要因		評価
新規創業者向けの各種支援制度や空き店舗改装費補助金の活用等により、利活用件数が増加した。		順調 (^_^)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
順調 (^-^)	就職率は不調だが、他3件は順調なため、「順調」とした。今後も誘致企業や新規創業者を呼び込むことにより、地元就職者の増加につなげていただきたい。

(基本目標3 豊かで活力あるまち)

政策(3)	豊かな自然や伝統・文化を活かした観光
-------	--------------------

【基本計画の目標指標】

指 標			目標値 2,435,000
観光客入込客数	3,000,000人		
基準値	目標値 (R9)		
2,254,917人 (R元年)	2,435,000人		
推移の分析・考えられる要因			評価
アフターコロナの規制緩和により、観光需要が戻りつつあるが、コロナ前の水準にはまだ遠い状況である。全国的なインバウンドの増加傾向を、この地域にいかん波及させるかが課題となっている。			不調 (>_<)

指 標			目標値 164,000
宿泊客数	200,000人		
基準値	目標値 (R9)		
151,693人 (R元年)	164,000人		
推移の分析・考えられる要因			評価
能代市内宿泊施設利用の多くはビジネス客といわれている。コロナの終息と比例して、目標に向かって順調に推移しているが、宿泊施設の不足が以前から指摘されていることから、誘客の取組だけでは滞在型観光の推進に限界があると捉えている。			横ばい (-_-)

指 標			目標値 60.0
豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合 (市民意識調査)	70%		
基準値	目標値 (R9)		
47.8% (R3年度)	60.0%		
推移の分析・考えられる要因			評価
自然環境や郷土料理の魅力そのものに大きな変化はないが、コロナ終息による旅行機運の高まりにより、今現在は市民の目が外に向いているものと思われる。			不調 (>_<)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
不調 (>_<)	ビジネス客は、増加しているが、宿泊施設が不足している状況にある。また、コロナが収束しても観光客数が回復していないため、「不調」とした。観光客をターゲットにした宿泊施設の誘致や、観光資源の活用、発信、PRが必要と考える。

(基本目標3 豊かで活力あるまち)

政策(4)	力強く持続する農業
-------	-----------

【基本計画の目標指標】

指 標		
戦略作目5品目の生産出荷額		
基準値	目標値(R9)	
2,022百万円 (R2年度)	2,800百万円	
推移の分析・考えられる要因		評価
主力品目であるネギの作付けは順調に増加しているが、ほかの品目については減少傾向にある。出荷数量や出荷額については、大雨被害や高温障害等が発生するなど天候に左右される。		不調 (>_<)

指 標		
新規就農者数(5カ年累計)		
基準値	目標値(R9)	
-	50人	
推移の分析・考えられる要因		評価
農業法人の増に伴い、雇用先が増加していることや国の「経営開始資金」の認知度が高まったことにより、新規就農者数の増加につながっている。		順調 (^-^-)

指 標		
農業法人数		
基準値	目標値(R9)	
39法人 (R2年度)	44法人	
推移の分析・考えられる要因		評価
ほ場整備実施に伴い法人が新設されたほか、地域の担い手不足の深刻さを懸念した中核経営体が法人化を図っている。		順調 (^-^-)

指 標		
担い手農地集積率		
基準値	目標値(R9)	
64.0% (R2年度)	70.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
新設法人の増加と新規就農者の増加に伴う集積面積の増による。		順調 (^-^-)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
順調 (^-^)	新規就農、農業法人が増加しており、今後の生産額の増加が見込まれるため、「順調」とした。農産物、白神ねぎのPR強化を図る。新規就農の増加、海外人材の活用を推進する。

(基本目標3 豊かで活力あるまち)

政策(5)	山・川・海を生かす林業・木材産業・水産業
-------	----------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
人工林間伐面積		
基準値	目標値 (R9)	
47.0ha (R2年度)	150.0ha	
推移の分析・考えられる要因		評価
事業者が国有林施業を主としている。国県の間伐補助金の減少、間伐から皆伐施業へのシフトなど複数の要因が考えられる。		不調 (>_<)

指 標		
皆伐後の植栽面積		
基準値	目標値 (R9)	
43.9ha (R2年度)	60.0ha	
推移の分析・考えられる要因		評価
市や県等の助成制度が追い風となり増加傾向にある。		順調 (^_^)

指 標		
地元木製品の需要拡大事業の実績		
基準値	目標値 (R9)	
-	170件	
推移の分析・考えられる要因		評価
コロナ収束による経済活動の正常化と、市の制度周知により申請件数は増加傾向にある。		順調 (^_^)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
順調 (^_^)	皆伐へシフトし、皆伐後の植栽面積が増加傾向にあり、「順調」とした。木高研だけでなく、県立大生物資源科学部やシステム科学技術部との連携により、政策のさらなる推進力となることが期待される。木材産業のPR及び他産業とのマッチングの取り組みが必要と考える。

(基本目標 4 安心して暮らしやすいまち)

政策 (1)	安全な暮らしを守る防災・防犯体制
--------	------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合 (市民意識調査)		
基準値	目標値 (R9)	
47.7% (R3年度)	55.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
近年、全国的に大規模災害が多発しており、市民の防災意識に影響を与えていると考えられるため、今後も出前講座や訓練などの機会に情報提供を行い、防災意識の向上につなげていきたい。		横ばい (--)

指 標		
消防団員の定員の充足率		
基準値	目標値 (R9)	
76.8% (R3年度)	91.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
再編を実施したことにより一時的には充足率は増加したが、人口減少や高齢化などの社会情勢の変化に伴い新規団員の加入が見込めないことや毎年一定数の定年退職者がいるために、減少傾向となっていると考えられる。		不調 (>_<)

指 標		
自主防災組織数 ※組織=自治会・町内会数		
基準値	目標値 (R9)	
200組織 (R3年度)	218組織	
推移の分析・考えられる要因		評価
増加傾向ではあるが、当初のような急増ではない。近年、全国的に大規模災害が多発しており、自主防災組織の設立に影響を与えていると考えられる。		横ばい (--)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (--)	目標値に達成していないが、改善してきているところもあるため、「横ばい」とした。情報や対策を常にアップデートしていく必要があることから、若者や女性ももっと参加できるように、イメージの刷新や防災意識向上のため、常時訓練や啓発を繰り返し続けていく必要があると考える。

(基本目標 4 安心して暮らしやすいまち)

政策 (2)	機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク
--------	-----------------------

【基本計画の目標指標】

指 標 道路の整備延長 (改良率)		
基準値	目標値 (R9)	
58.3% (R3年度)	59.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
道路改良を実施したことにより改良済み道路が増えたことによるもの。今後も道路整備関係予算の確保ができれば目標値に向かって推移していくと考えられる。		順調 (^_^)

指 標 巡回バスの1便平均利用者数		
基準値	目標値 (R9)	
9.3人 (R2年度)	11.0人	
推移の分析・考えられる要因		評価
新型コロナウイルスが5類に移行し、住民の移動需要も回復傾向にあることから前年度と比較し利用者は伸びているものの、地域の人口減少等に伴う利用者数の減少が見込まれる。		横ばい (-_-)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (-_-)	路線バスの廃止、高齢化により利用者は伸びたものの、人口減少により、今後利用者の増加が見込めないため、「横ばい」とした。東能代駅から能代駅へのスイッチバック等、機能的な交通体制を確保するための支援を行う。停留所以外での乗客の乗降など、きめ細かな対応が必要。地吹雪による視界不良箇所が多く、防雪柵設置増の対応が必要と考える。

(基本目標4 安心して暮らしやすいまち)

政策(3)	快適で暮らしやすい住環境
-------	--------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
住宅耐震化率		
基準値	目標値 (R9)	
81.2% (R2年度)	90.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
令和2年度に改訂した能代市耐震改修促進計画で示した数値で、5年毎に行われる住宅・土地統計調査等により算出された推計値である。		横ばい (--)

指 標		
水道普及率		
基準値	目標値 (R9)	
92.1% (R3年度)	93.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
水道普及率は給水人口÷行政区域内総人口で算出されるが、給水区域内と比べて給水区域外の人口減少率が大きかったことにより、水道普及率が上昇した。 令和4年度末実績：92.7% (43,909÷47,356) 令和3年度末実績：92.1% (44,575÷48,420)		順調 (^^)

指 標		
汚水処理人口普及率		
基準値	目標値 (R9)	
76.1% (R3年度)	85.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
不老岱地区、河戸川地区、宮ノ前地区、悪戸地区の下水道整備により処理区域面積を拡大したため、普及率が向上した。		横ばい (--)

指 標		
公園や緑地の景観が維持されていると思う市民の割合 (市民意識調査)		
基準値	目標値 (R9)	
54.1% (R4年度)	基準値以上	
推移の分析・考えられる要因		評価
公園愛護会等の地域住民の協力を得ながら公園施設の点検・清掃等を行っているほか、自治会等への花苗の無料配布を活用した市民の緑化活動により、市民の緑化に対する意識の高揚が図られている。		横ばい (--)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (--)	急に増えるものでもなく、人口減少に左右されることから、「横ばい」とした。公園や緑地だけでなく、空き家対策も景観維持のため必要と考える。空き家・空き店舗の増加は、正味の住宅耐震率低下と直結することから、対応すべき。目標指標の公園や緑地については、「景観」を「機能」に変える。上下水道に関して、その普及と維持管理の必要性について広く市民に啓発する。

(基本目標4 安心して暮らしやすいまち)

政策(4)	自然と共生し持続できる環境・衛生
-------	------------------

【基本計画の目標指標】

<p>指 標</p> <p>限りある資源を大切にするため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合(市民意識調査)</p>		
基準値	目標値(R9)	
85.0% (R3年度)	92.0%	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>横ばい状況が続き、目標値には達していないものの、高水準を保っており資源ごみの分別意識は、ある程度定着していると言える。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (-_-)</p>

<p>指 標</p> <p>1人1日当たり家庭系ごみ排出量(リサイクルできるものを除く)</p>		
基準値	目標値(R9)	
537g (R2年度)	500g	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>やや減少傾向にはあるものの、目標値には近づいていない。要因としては、空き家の整理等による一般廃棄物の排出量増加が考えられる。</p>		<p>評価</p> <p>不調 (&gt;_&lt;)</p>

<p>指 標</p> <p>リサイクル率</p>		
基準値	目標値(R9)	
27.8% (R3年度)	30.0%	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>ごみを資源として再利用する必要性が浸透し、分別意識の定着が図られているほか、民間事業者が設置している資源ごみ回収の利便性により順調に推移している。</p>		<p>評価</p> <p>順調 (^-^)</p>

<p>指 標</p> <p>のしろクリーンパートナー登録団体数</p>		
基準値	目標値(R9)	
30団体 (R2年度)	33団体	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>数件の辞退届はあるものの、HP等での周知により新規の登録団体があり、団体数は横ばい状況となっている。また、登録団体はクリーンアップなど活発な活動をいただいている。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (-_-)</p>

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (--)	目標値付近でほぼ推移しているため、「横ばい」とした。本政策は、全体的に市民の意識が定着しているものと捉えている。引き続き、環境や自然エネルギーについて、市民に知ってもらうための周知が必要と考える。

(基本目標4 安心して暮らしやすいまち)

政策(5)	調和のとれた有効な土地利用
-------	---------------

【基本計画の目標指標】

指 標 中心市街地活性化重点区域の空き店舗率		
基準値 23.2% (R3年度)	目標値 (R9) 23.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
後継者不在のほか、建物の老朽化や賃貸の手續自体に難色を示すオーナーの存在により、店舗としての利活用が進まないほか、利用条件や家賃などで貸す側と借りる側のニーズがマッチしないことなどが要因として考えられる。		不調 (>_<)

指 標 中心市街地の歩行者・自転車の通行量		
基準値 3,520人 (R2年度)	目標値 (R9) 3,500人	
推移の分析・考えられる要因		評価
新型コロナウイルスの影響により外出する頻度が低下したため通行量が大幅に減少したが、マルヒコプロジェクトなど新しい動きにより若干持ち直したものの、人口減少、少子高齢化等が要因と考えられる。		不調 (>_<)

指 標 中心市街地区域内の居住人口		
基準値 10,716人 (R2年度)	目標値 (R9) 10,000人	
推移の分析・考えられる要因		評価
全市的な人口減少により中心市街地区域内の居住人口も減少傾向にある。		不調 (>_<)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
不調 (>_<)	全ての目標値を達成しておらず、「不調」と言わざるを得ないが、どの世代でも様々な取り組みを進めているので、今後能代市をどのようなまちにするべきか市民でイメージを構築し直し、それによって政策を実行させていく必要があると考える。

(基本目標 4 安心して暮らしやすいまち)

政策 (6)	住民サービスに資する効率的な行財政基盤
--------	---------------------

【基本計画の目標指標】

<p>指 標</p> <p>市職員は日頃仕事をよくやっていると思う市民の割合 (市民意識調査)</p>		
基準値	目標値 (R9)	
54.2% (R3年度)	65.0%	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>年度によりばらつきはあるものの、基準値からほぼ横ばいで推移している。前年度の調査から4.4ポイント下がっているが、「どちらともいえない」という回答が3.1ポイント増えており、職員の働きぶりが市民から見えにくい状況があると考えられる。</p>		<p>評価</p> <p>横ばい (-_-)</p>

<p>指 標</p> <p>市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合 (市民意識調査)</p>		
基準値	目標値 (R9)	
44.2% (R3年度)	50.0%	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>「わからない」と回答した市民が多くなっていることから、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう、地元新聞社への情報提供を続けるとともに、予算や決算、各種財政指標等について、広報のしるや市ホームページへ見やすく分かりやすい内容掲載に努めていきたい。</p>		<p>評価</p> <p>不調 (&gt;_&lt;)</p>

<p>指 標</p> <p>マイナンバーカードを使ったオンライン (電子) 申請が可能な手続数</p>		
基準値	目標値 (R9)	
-	100業務	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>令和5年の手続き数増加は順調で、令和9年の目標達成に向けた受け入れ態勢が進んでいます。</p>		<p>評価</p> <p>順調 (^_^)</p>

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
横ばい (-_-)	数値が改善している項目もあれば、下がっている項目もあるので、「横ばい」と評価した。今後は、様々な方策で情報のPRを続けていく必要があると考える。